

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年11月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第61期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日） |
| 【会社名】 | ジオマテック株式会社 |
| 【英訳名】 | GEOMATEC CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 松崎 建太郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 |
| 【電話番号】 | (045)222-5720 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経理財務部長 河野 淳 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 |
| 【電話番号】 | (045)222-5720 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経理財務部長 河野 淳 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第60期 第2四半期連結 累計期間 | 第61期 第2四半期連結 累計期間 | 第60期 |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日 | 自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 4,795,118 | 5,160,189 | 9,821,319 |
| 経常利益(千円) | 282,956 | 620,204 | 886,577 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 210,600 | 593,272 | 845,845 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 209,661 | 888,779 | 1,118,185 |
| 純資産額(千円) | 16,632,387 | 17,678,248 | 17,415,170 |
| 総資産額(千円) | 24,267,043 | 26,067,529 | 26,384,061 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 25.12 | 73.44 | 100.90 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 68.5 | 67.8 | 66.0 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 496,066 | 1,113,319 | 1,599,729 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 233,202 | 397,165 | 959,070 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 629,744 | 1,105,155 | 499,952 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円) | 8,150,651 | 8,389,707 | 8,735,385 |

| 回次 | 第60期 第2四半期連結 会計期間 | 第61期 第2四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日 | 自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 13.99 | 36.63 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和政策による景況感の好転により、景気は回復基調で推移いたしました。また、海外におきましては、中国やインドなど新興国の成長スピードは鈍化するものの、欧州での債務問題の沈静化や、米国での底堅い個人消費に支えられ緩やかに回復基調で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、スマートフォン、タブレット機器の需要増により引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は、51億60百万円（前年同期比7.6%増）となりました。損益につきましては、スマートフォン、タブレット向けの売上が増加したことや、中国子会社の収益が改善したことなどから、営業利益は6億8百万円（前年同期比125.4%増）、経常利益は6億20百万円（前年同期比119.2%増）、四半期純利益は5億93百万円（前年同期比181.7%増）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

（FPD用基板）

FPD用基板につきましては、スマートフォン、タブレット端末及びカーナビゲーション向けで液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜の需要が安定していることから堅調に推移しました。

この結果、売上高は38億12百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

（光学機器用部品）

光学機器用部品につきましては、プロジェクター向け光学部品で大手プロジェクターメーカーが事業を縮小したことや、デジタルカメラの販売不振により反射防止膜の需要が減少したことなどから低調な推移となりました。

この結果、売上高は4億60百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

（その他）

その他につきましては、スマートフォン向け加飾膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は8億87百万円（前年同期比52.1%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少し、83億89百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は11億13百万円（前年同期比124.4%増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益6億20百万円と減価償却費4億14百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億97百万円（前年同期比70.3%増）となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入2億円と有形固定資産の取得による支出5億90百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は11億5百万円（前年同四半期比75.5%増）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出4億79百万円、自己株式の取得による支出4億99百万円及び配当金の支払額1億25百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億37百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間に新たに確定した重要な設備の新設計画は、次のとおりであります。

| 会社名 事業所名 | 所在地 | 設備の内容 | 投資予定金額 | | 資金調達方法 | 着手及び完了予定 | | 完成後の増加 能力 |
|---------------|--------|-------|------------|--------------|--------|----------|---------|--------------|
| | | | 総額 (千円) | 既支払額 (千円) | | 着手 | 完了 | |
| 当社 金成第 二工場 | 宮城県栗原市 | 製造設備 | 600,000 | 51,673 | 借入金 | 平成25年9月 | 平成26年3月 | 生産能力9% 増加 |

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 21,600,000 |
| 計 | 21,600,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 9,152,400 | 同左 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数100株 |
| 計 | 9,152,400 | 同左 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|------------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成25年7月1 日~ 平成25年9月30日 | - | 9,152,400 | - | 4,043,850 | - | 8,297,350 |

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|--|----------------------|---------------|--------------------------------|
| ジオマテック株式会社 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 | 1,242 | 13.57 |
| 松崎 隆造 | 神奈川県横浜市中区 | 1,053 | 11.50 |
| 松崎 建太郎 | 神奈川県横浜市中区 | 424 | 4.63 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給 付信託 東京都民銀行口 再信託 受託者 資産管理サービス信託銀 行株式会社 | 東京都中央区晴海1-8-12 | 418 | 4.57 |
| 有限会社松崎興産 | 東京都品川区大井1-45-6 | 336 | 3.67 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2-7-1 | 303 | 3.31 |
| ジオマテック従業員持株会 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 | 189 | 2.06 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 東京都千代田区丸の内2-1-1 | 154 | 1.68 |
| 梅田 照男 | 京都府京丹後市 | 130 | 1.42 |
| 第一生命保険株式会社 | 東京都千代田区有楽町1-13-1 | 105 | 1.14 |
| 計 | - | 4,356 | 47.59 |

(注)「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」の所有株式数418千株は、株式会社東京都民銀行が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 1,242,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 7,908,800 | 79,088 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,600 | - | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 9,152,400 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 79,088 | - |

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|----------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| ジオマテック株式会社 | 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 | 1,242,000 | - | 1,242,000 | 13.57 |
| 計 | - | 1,242,000 | - | 1,242,000 | 13.57 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,182,997 | 6,637,224 |
| 受取手形及び売掛金 | ¹ 7,608,297 | ¹ 7,581,459 |
| 有価証券 | 1,752,788 | 1,752,883 |
| 商品及び製品 | ¹ 146,766 | 106,183 |
| 仕掛品 | 157,989 | 158,078 |
| 原材料及び貯蔵品 | ¹ 900,452 | ¹ 858,278 |
| その他 | 105,046 | 142,807 |
| 貸倒引当金 | 2,275 | 2,296 |
| 流動資産合計 | 17,852,062 | 17,234,620 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,612,836 | 1,643,107 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | ² 2,327,309 | ² 2,525,501 |
| 土地 | 2,340,673 | 2,340,673 |
| その他(純額) | 601,522 | 634,586 |
| 有形固定資産合計 | 6,882,342 | 7,143,868 |
| 無形固定資産 | 56,631 | 73,872 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 828,598 | 874,407 |
| その他 | 764,574 | 740,770 |
| 貸倒引当金 | 147 | 9 |
| 投資その他の資産合計 | 1,593,024 | 1,615,168 |
| 固定資産合計 | 8,531,998 | 8,832,909 |
| 資産合計 | 26,384,061 | 26,067,529 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | ¹ 4,677,326 | ¹ 4,664,504 |
| 短期借入金 | 50,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 939,255 | 829,617 |
| 未払法人税等 | 57,311 | 45,898 |
| 賞与引当金 | 194,027 | 203,487 |
| 役員賞与引当金 | 12,000 | - |
| その他 | 674,896 | 616,006 |
| 流動負債合計 | 6,604,816 | 6,409,514 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,818,202 | 1,448,386 |
| 退職給付引当金 | 271,497 | 291,037 |
| 役員退職慰労引当金 | 252,095 | 211,660 |
| その他 | 22,279 | 28,683 |
| 固定負債合計 | 2,364,073 | 1,979,767 |
| 負債合計 | 8,968,890 | 8,389,281 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,043,850 | 4,043,850 |
| 資本剰余金 | 8,297,350 | 8,297,350 |
| 利益剰余金 | 5,857,123 | 6,324,656 |
| 自己株式 | 811,124 | 1,311,086 |
| 株主資本合計 | 17,387,199 | 17,354,769 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 86,808 | 127,533 |
| 為替換算調整勘定 | 58,837 | 195,944 |
| その他の包括利益累計額合計 | 27,971 | 323,478 |
| 純資産合計 | 17,415,170 | 17,678,248 |
| 負債純資産合計 | 26,384,061 | 26,067,529 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 4,795,118 | 5,160,189 |
| 売上原価 | 3,667,172 | 3,613,445 |
| 売上総利益 | 1,127,946 | 1,546,744 |
| 販売費及び一般管理費 | 858,057 | 938,487 |
| 営業利益 | 269,888 | 608,257 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15,604 | 11,730 |
| 受取配当金 | 5,787 | 6,090 |
| 不動産賃貸料 | 8,894 | 7,332 |
| その他 | 16,569 | 19,092 |
| 営業外収益合計 | 46,856 | 44,245 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,890 | 10,559 |
| 為替差損 | 9,008 | 14,068 |
| 不動産賃貸費用 | 5,542 | 1,509 |
| その他 | 5,344 | 6,161 |
| 営業外費用合計 | 33,787 | 32,298 |
| 経常利益 | 282,956 | 620,204 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 475 | 49 |
| 特別利益合計 | 475 | 49 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 66,697 | - |
| 特別損失合計 | 66,697 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 216,734 | 620,254 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,350 | 26,950 |
| 法人税等調整額 | 783 | 31 |
| 法人税等合計 | 6,133 | 26,981 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 210,600 | 593,272 |
| 四半期純利益 | 210,600 | 593,272 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 210,600 | 593,272 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,542 | 40,725 |
| 為替換算調整勘定 | 13,603 | 254,781 |
| その他の包括利益合計 | 938 | 295,507 |
| 四半期包括利益 | 209,661 | 888,779 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 209,661 | 888,779 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 216,734 | 620,254 |
| 減価償却費 | 456,666 | 414,614 |
| 固定資産売却損益(は益) | 475 | 49 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 66,697 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 266 | 117 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 6,210 | 9,460 |
| 役員賞与引当金の増減額(は減少) | 13,000 | 12,000 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 10,358 | 19,539 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | - | 40,435 |
| 受取利息及び受取配当金 | 21,392 | 17,820 |
| 支払利息 | 13,890 | 10,559 |
| 為替差損益(は益) | 7,521 | 13,443 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 821,520 | 69,885 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 66,418 | 122,237 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 987,060 | 36,678 |
| その他 | 6,235 | 3,873 |
| 小計 | 504,801 | 1,142,132 |
| 利息及び配当金の受取額 | 21,372 | 18,061 |
| 利息の支払額 | 13,685 | 10,219 |
| 災害損失の支払額 | 10,342 | - |
| 法人税等の支払額 | 10,780 | 36,655 |
| 法人税等の還付額 | 4,701 | - |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 496,066 | 1,113,319 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 400 | 400 |
| 定期預金の払戻による収入 | 400 | 400 |
| 有価証券の償還による収入 | 100,000 | 200,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 388,095 | 590,774 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 48,410 | 3,685 |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | 13,943 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 367 | 70 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 1,826 | 1,500 |
| 貸付けによる支出 | 6,527 | 7,247 |
| 貸付金の回収による収入 | 11,551 | 9,684 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 233,202 | 397,165 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | 504,004 | 479,454 |
| 自己株式の取得による支出 | - | 499,961 |
| 配当金の支払額 | 125,740 | 125,740 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 629,744 | 1,105,155 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 5,589 | 43,323 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 372,468 | 345,678 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,523,120 | 8,735,385 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,150,651 | 8,389,707 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|-----|-------------------------|------------------------------|
| 売掛金 | 3,825,834千円 | 3,812,796千円 |
| 製品 | 7,729 | - |
| 原材料 | 112,780 | 29,371 |
| 買掛金 | 3,952,370 | 3,843,636 |

- 2 国庫補助金等により取得した資産について取得価額から控除している圧縮記帳額は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|------|-------------------------|------------------------------|
| 機械装置 | 130,000千円 | 130,000千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|----------|---|---|
| 給料手当 | 153,047千円 | 170,286千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 31,650 | 32,467 |
| 退職給付費用 | 21,415 | 26,611 |
| 研究開発費 | 246,388 | 237,856 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|--------------------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 7,398,295千円 | 6,637,224千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 400 | 400 |
| 有価証券勘定(マネー・マネージメント・ファンド、金銭信託等) | 752,755 | 1,752,883 |
| 現金及び現金同等物 | 8,150,651 | 8,389,707 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 125,740 | 15 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 125,740 | 15 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月7日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 125,740 | 15 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 118,655 | 15 | 平成25年9月30日 | 平成25年12月6日 | 利益剰余金 |

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用
 される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することについて決議し、自己株式を472,300株
 取得いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が499,961千円増加して
 おります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自
 平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略して
 おります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 25円12銭 | 73円44銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 210,600 | 593,272 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 210,600 | 593,272 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 8,382,668 | 8,077,996 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額.....118,655千円
- (2) 1株当たりの金額.....15円
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月6日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

ジオマテック株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北方 宏樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山本 千鶴子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジオマテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジオマテック株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。